

# Bridges

夏休み期間も、本校生が海外研修をはじめ、いくつかの国際交流事業に参加しました。今回は、参加生徒の感想文を中心に伝えします。

## I 国際交流事業参加体験報告

### (1) 第34回 海外研修 ～アメリカ～

**7月21日** 仙台を出発しました。そして14時間くらい飛行機に乗っていました。到着後、各家庭のホストファミリーと会い、緊張と不安の中別れていきました。

**7月22日** ホームステイ2日目  
ワシントンDC研修がありました。

ワシントンDCではホワイトハウス、国立航空博物館、国立自然史博物館、アメリカ合衆国議会議事堂、リンカーン記念堂、ナショナル・モールを訪れました。



ホワイトハウス



国立航空博物館



国立自然史博物館



アメリカ合衆国議会議事堂



リンカーン記念堂



ナショナル・モール

**7月23日** ホームステイ3日目

ホストファミリーと自由な行動をして良い日でした。

各家庭、午前中は教会礼拝、その後例えば ゴルフ、ボウリング、ショッピングなどをしました。

**7月24日** ホームステイ4日目(前半終了) / ハイポイントキャンプ1日目

午前中はフランクリン&マーシャル大学及びランカスター神学校を訪れました。

ランカスター神学校では東北学院の校祖であるW.E.ホーイ先生、D.B.シュネーダー先生の出身学校です。

午後からはハイポイントキャンプ(教会キャンプ)が始まりました。

驚いたこと

- ・キャビンの中のベッドにたくさん砂やホコリ、虫がいました。
- ・同年代の子が話している英語が全然早くて聞こえませんでした。



ランカスター神学校      ランクリン&マーシャル大学

**7月25日** ハイポイントキャンプ2日目

7時15分に朝が始まりました。国旗掲揚など様々なことを終えた後、同じキャビンの人と体を動かすゲームをやったり、聖書の朗読などをしました。そして、午後を過ぎるとキャビンの人と午前中とは違うもっと大きなゲームをやりました。

**7月26日** ハイポイントキャンプ3日目

**7月27日** ハイポイントキャンプ4日目

**7月28日** ハイポイントキャンプ5日目 / ホームステイ再開5日目

朝みんながいない間にバスに乗り、ニューヨークに向けて出発しました。

ニューヨークではまず自由の女神像をフェリーから見学し、グラウンドゼロ、タイムズスクエア、国連本部に行きました。



自由の女神



グラウンドゼロ



タイムズスクエア



国連本部

**7月29日** ホームステイ6日目

ホストファミリーと自由な日でした。

**7月30日** ホームステイ7日目(最終日) / ボストンプログラム開始1日目

バスでの移動がほとんどでした。

**7月31日** ボストンプログラム2日目

ハーバードキャンパスツアーやハーバード大生から「リーダーシップ」についての特別講義を受け、その後J.F.ケネディ図書館&博物館に行きました。

**8月1日** ボストンプログラム3日目

マサチューセッツ工科大学(MIT)でワークショップを受けました。その後キャンパスツアー、マサチューセッツ総合病院(MGH)のエーテルドームを見学しました。

**8月2日** ボストンプログラム4日目

ハーバード大生から「ハーバード大学の歴史とアメリカの文化」について講義を受けました。

**8月3日** ボストンプログラム5日目

最先端企業の人からお話を聞き、昼食を最先端企業で食べました。そしてハーバード大生から「目標設定」について学びました。

8月4日 ポストンプログラム6日目  
ハーバード自然史博物館に行きました。



8月5日 ポストンプログラム7日目  
ポストン大学でそれぞれがスピーチをしました。

8月6日 ポストンプログラム8日目(最終日)~8月7日 日本到着  
ポストンを朝早くに出発しました。~飛行機約14時間~日本到着

## (2) SMJ ディスカバリーキャンプ体験報告

(3年D組 佐久間 君) 一部抜粋

キャンプ中、僕はいろいろな体験をさせてもらいました。初めて海に入ったり、初めて魚を釣ったり、ロッククライミングも体験しました。船釣りがどんなものか知らなかったため、餌に触れなかったり、船酔いになったりしました。また、海水を飲み込んだときの味や、ロッククライミングの楽しさなど、体験を通じてたくさんの経験をしました。

キャンプが終わったあとは、ニューヨークに宿泊しました。異国文化で暮らすとなると、思うようにいかないことが沢山あります。シャワーヘッドが取れなかったり、トイレと風呂が一緒になっていたり。また、赤信号なのに横断歩道を渡ったりなど、日本でやったら捕まりそうな経験もしました。

ニューヨークの街を歩いていると、日本との違いは沢山ありました。警察官がとてもフレンドリーだったのが一番印象に残っています。

日本に帰るために空港に行くと、キャンパーたちが見送りに来てくれていました。最後の別れはとても辛かったです。僕は笑顔で別れましたが、ゲートを通ると、泣きたくなりました。アメリカで得た経験や、友達との別れは日本にいても心に残り続けています。僕は今15歳ですが、17歳になったらジュニアカウンセラーとして、またこのDiscovery Campに参加して、今度はキャンパーたちとこのキャンプを繋いでいきたいと考えています。

(3年E組 大森 君) 一部抜粋

特に楽しかったのは3つあり、1つ目はタレントナイトの時にMR.Blue Skyの曲に合わせて踊ったことです。最初の頃は踊るのが恥ずかしかったのですが、平気になってくると皆で同じことをするのがとても楽しく、本番で成功したときにはとても達成感がありました。2つ目はチャペルに行く前にした散歩です。朝の散歩ではいろいろな良いことがありました。リスや鹿を見つけられたことや、海岸で景色を見たことは今でも忘れられません。3つ目は遠足に行ったことです。遠足ではブルーベリー狩りをしたり、ヤギの乳で作ったヨーグルトを食べたり、自由行動のときにはピザを食べたりしました。僕にとっても初めてのことばかりだったのでとても良い思い出です。この他にも、木の上で色々な人の深い話が聞けたことやパドルボートをしたことも楽しかったです。キャンプが終わり、色々な思い出ができ、たくさんの友人もできました。

NY観光では行きたかった場所に行けました。タイムズスクエアではいたるところに電光掲示板がたくさんあり、映画などによく出てくるそのままの光景がありました。夜になってもずっと光っているので全く暗くなく眠らない街と言われるのにも納得しました。また自然史博物館は展

示物に興味があるのと映画「ナイトミュージアム」の舞台となっているので絶対に行きたい場所でした。時間がなかったのであまり長い時間見ることは出来なかったのですが、恐竜の化石や水陸の動物のはくせいを見ただけで満足でした。

また、僕はアメリカのコミックがとても好きなので、コミックショップに連れて行ってもらったのが一番うれしかったです。日本で買うととても高いのであまり手を出せないのですが、こちらで買ったときには英語で書いてありますが、安く、うれしさのあまり買いすぎてしまいました。英語なのでスラスラと読むことはできませんが、勉強して読めるようになりたいです。NY観光ではキャンプのときのメンバーが付き合ってくれていました。中には空港まで見送りに来てくれる人たちもいてとてもうれしかったです。

## (3) アメリカ高校留学体験記

(6年J組 遠藤 君)

私はアメリカのフロリダ州、Pace High School という学校で1年間高校留学を経験しました。この留学は友人からの誘いを受けたことと、以前にも海外で1ヶ月ホームステイをしたことがあったので参加しようと思いました。留学だけでなく海外を訪れる際に必ず立ち回るのが言語の壁ですね。ただ、私が思うに言葉が通じないのは当然のことであって避けて通れる道ではないのもそうですが、もっと自分のなかで気をつけるべき大切なことがあると思います。それは行動力です。自発力とも言えるでしょうか。自分から行動していく意欲がないと様々なチャンスを逃してしまうことを私は痛感しました。

現地での高校生活の初めは授業を選択することからでした。基本的に必須科目以外は自由に選択できるのですがこれも全て自分で決めなければいけません。アメリカの学校は日本のように自分の固定されたクラスを持つことはありません。自分が選んだ科目によってクラスメイトはそれぞれ異なり、授業1限ごとに教室も変わります。そのためクラスのお便りなどはないので連絡事項は掲示板に張り出されるか学校内の放送を聞かなければなりません。それが一番苦労したことでした。英語の放送を騒がしいなかで聞き取ることもそうですし、なにしろ慣れない環境で自分から情報を探し出すことが当時の自分には大きな壁でした。

授業風景も真逆と言っていいでしょう。アメリカでは生徒が先生に質問をする場面が多くみられます。先生によっては授業中に静かにならなければならない時もありますが基本的にフリートークのような感じで授業のなかで会話が繰り広げられています。日本ではなかなか見られない光景ですね。

私は日本人としての誇りや日本を代表して留学しているという気持ちを持って留学生活を過ごしていましたが対人関係において良いことばかりがあったわけではありません。留学前によく耳にしていたことがあります。それは「日本人としての誇りを持つことは良いが、日本人だからといって優遇されるわけではない」ということです。確かにその通りです。アメリカは移民の国であり合衆国であることを頭に入れておかなければなりません。私たち日本人は見た目という

アジア系の人種なのでよく中国人と間違われます。私は中国が嫌いだとかそういう気持ちは持ってはいませんが、他の国の人と間違われることに良い気持ちは抱きません。すれ違いざまに「你好（ニーハオ）」と声をかけられたりしたこともありました。私はその時「英語で話しかけてくれればいいのに」と思っていました。実は、私たちも同じことを日本にしながらしています。よく日本で外国人を見かけた時、その人がどこの国出身かにかかわらず「Hello」と声をかけたりしていませんか。私たちにとって「外国人＝英語」という考えは型にはまってしまっています。同じようにアメリカの人たちも「アジア人＝中国人」という考えをしているのかもしれない。「郷に入っては郷に従え」、英語では「When in Rome, do as Romans do」ということわざがあるように、外国を訪れたらその国にのっとってその国の国民のように過ごさなければならぬのです。そういった信念を持つことの大切さと同様に、他国からの訪問者を受け入れる側も相手を自分たちの一員として迎え入れてあげる思いやりが大切だと私は気付きました。

留学は学ぶことだけが全てではありません。発信していくことも必要です。学校で授業を受け勉強していくことは日本でもできます。しかし、留学は受け身でいては意味がありません。私は日本について質問されることが多々ありました。これは良いチャンスだと思います。時々質問の内容が簡単であるにもかかわらず、英語のスキル不足と日本についての知識不足で100%の返答ができなかったこともあり、とてももったいないことです。受け身にならないということは質問を投げ返すということにも当てはまります。私はクラスメイトに「どうして質問ばかりに答えていて私たちには質問しないの?」と言われたことがありました。その時初めて自分が全く質問を投げていなかったことに気がついたのです。会話は意見交換の場なのでお互いに質問し合わなければ意味がありません。私たちも普段の会話の中で一人だけがずっと話していても面白いとは思いませんね、それと同じです。

この留学を通して学んだことはとても大きいです。学校でのダンスパーティーや週末のハイキングやカヤッキング、自然とのふれあいや他言語での会話など普段経験することのない経験ができました。その過程でわかった喜びや、気づいてしまった嫌な部分など得たことは様々です。

こういった振り返りの機会を得ると改めて気づくことがたくさんあります。今思えば1年間の留学が短い期間と感じるのもその一つです。そして時間は過ごし方次第で感じ方が変わるものです。不安なことばかり続けば「早く終わって欲しい」と長く感じ、楽しいことばかり続けば「もっと時間が欲しい」と短く感じます。

まるでフロリダの嵐のように過ぎ去ってしまった留学生活でしたが私が振り返りの機会に毎回感じること、それは『どれほど多くの思い出が自然と頭に浮かぶのか』です。大変だと思えます、「自然と」浮かぶのですから。つまり言いたいことはどれほど楽しい経験をしたか、どれだけ辛い経験をしたか、その量と内容の濃さが自分の経験をより磨き上げるのだと思います。その当時経験し真に思っていた気持ちは後になってからではうまく思い返すことができません。時間が経てば経つほど薄れていくのです。私はこの留学で得た経験と繋がりを廃らせないためにも常

に活かせる場面を見つけていきたいです。そしてまるでスライドショーのように経験したことがパツ、パツと自然と出てくるような、そんな感覚が持てる実りある生活を送ることを私は大切にしたいです。今私は外国に関する進路を考え勉強しています。その過程でもこれまでのことを惜しまないようにしたいです。

最後になりましたが留学を支援して下さった方々に感謝しています。

## II 交換留学生の紹介

8月22日から来年の6月までの予定で、交換留学生が本校で一緒に学んでいます。クラスは4C、4Fに所属しています。よろしくおねがいします。

- ◎ 4C Joris ter Wolbeek (通称 ヨリス) 君 オランダから
- ◎ 4F Marius Muller (通称 アキラ) 君 ドイツから

※今回の受け入れは、本校のホストファミリー登録制度が機能した成果です。本校を訪問してくれる留学生が増えれば、皆さんの学校生活をより豊かなものにする一助となると思います。これからもホストファミリー登録へのご協力をよろしくお願い致します。

## III 平成30年度海外研修について

平成30年度海外研修の実施要領がまとまりました。詳細については、本日の奨学会で配布されるプリントをご覧ください。初めての海外体験になる生徒・保護者の方にとってはいろいろ心配な点もあるかと思えます。今年度からこれまでの「アメリカ研修」に加えて、先日姉妹校締結をしたワイヒカレッジへの「ニュージーランド研修」も加わります。どうぞお気兼ねなく、国際交流委員までお問い合わせ下さい。

### ※ ニュージーランドの学校との姉妹校締結について

9月20日(水)に、ニュージーランドの中高一貫校ワイヒカレッジ(Waihi College)との姉妹校締結式を行いました。この姉妹校締結は、生徒・教員が相互の学校を訪問し、交流を深めることを目的としており、具体的には、各校の希望する生徒が約2週間の短期留学を行うことを予定しています。本校ではこれまで希望者を対象とした海外研修をアメリカにおいて34年間行ってきましたが、来年度からはこのワイヒカレッジへの短期留学も選択肢の一つに加わることになりました。この短期留学では授業料とホームステイ費用が免除されますので、費用面でも参加しやすくなります。また、本校でも来年度からワイヒカレッジの生徒の受け入れを始めることとなります。グローバル化に対応できる人材の育成がますます求められる中、この短期留学への参加や受け入れの経験をきっかけとして世界に羽ばたく生徒が増えることを期待しています。